

2021年度 研修終了報告

研修名：3病院の結束—師長編— 第2回（全3回）

実施日：2021年9月29日（水）13:00～16:30

方法：オンライン形式（ZOOM 使用）

アドバイザー：大森病院 副看護部長 節原光江

大橋病院 副看護部長 安藤弓子

佐倉病院 副看護部長 林 弥生

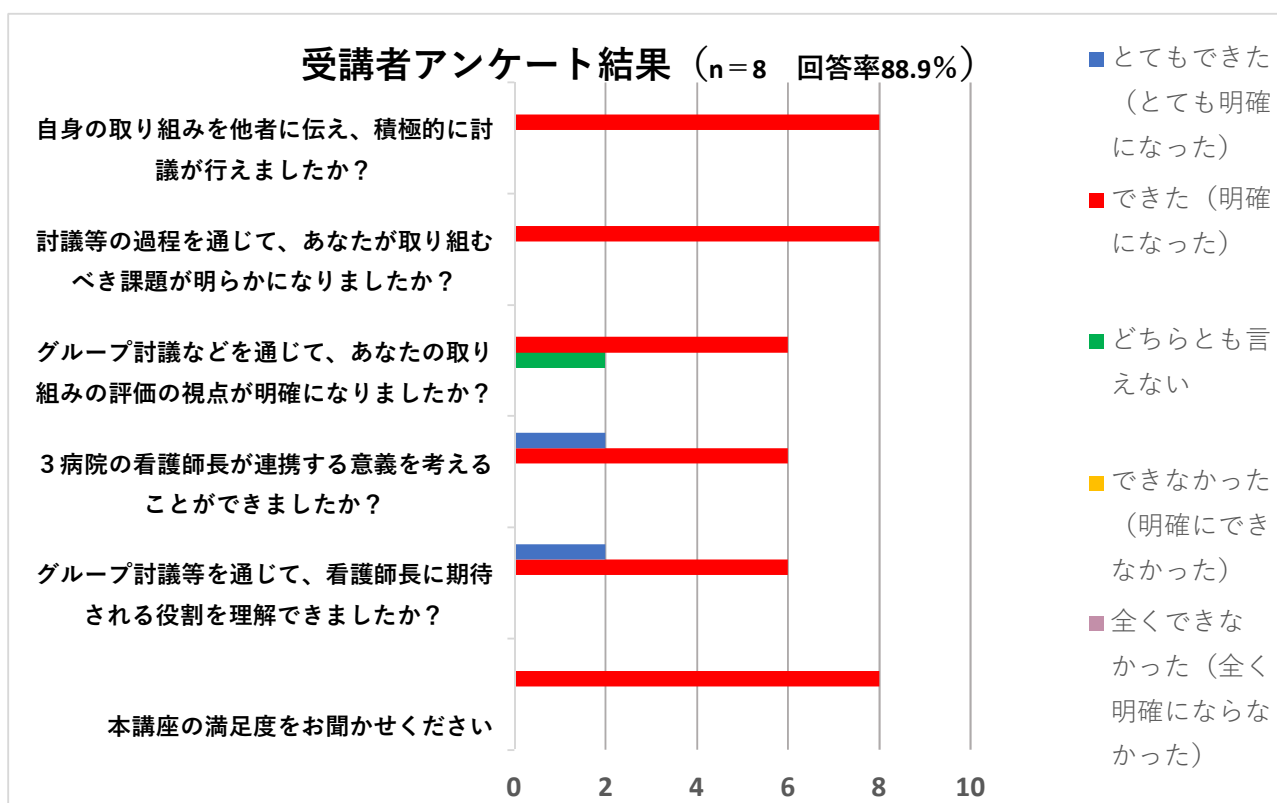
受講者：9名（大森3 大橋3 佐倉3）

目的：受講者自身が取り組む課題について同じ立場の仲間と語り合い、看護管理実践の表を行いながら他者の意見を聴くこと・意見することを通じて3病院の看護師長が連携する意義を再考する。

目標 ①自身の取り組みを他者に伝え、討議ができる

②討議を通して自身の取り組みを評価できる

③東邦大学3病院の看護師長として、3病院の師長が連携する意義を考えられる



■意見・感想など（抜粋）

- ・様々な環境で働いている師長たちが、それぞれに不安なことや問題を抱えながら働いており、この講座で少しでもその思いを共有することができたのであれば非常に有意義な研修であると感じた。
- ・同じ立場の研修生と課題を共有することで、自己が抱えている課題は本当に問題なのかという、本質を考える機会になりました。
- ・3病院の現状を知ること、自分自身に置き換えて考えることができました。質問や意見をいただきながら、自分自身の考えを整理することができました。

M1.師長編 第2回アンケート集計

- ・自己の課題を他者に伝えることや助言が得られることによって、ブラッシュアップできる。自施設・自部署内ではない環境が、自分を素直な思考・姿勢にさせ、課題の要因を明らかにするできたのではないか。他施設の研修生との意見交換が、とても新鮮でリフレッシュできる。

【まとめ】

今回の研修では、第1回目の討議でグループメンバーから得た意見やアイデアを踏まえ、「スタッフのための環境調整」について深く考えてブラッシュアップした師長自身の取り組みを前回と同グループで報告し合いました。

受講者アンケートの結果からは、本研修の目的・目標達成に近づいていることがうかがえます。次回、第3回の研修では、各自の取り組みとその成果をプレゼンテーションしていただきます。